

科目区分	専門分野 I	科目名	基礎看護援助論 I (治療別看護)	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第2学期
担当講師	大倉 令(臨床経験7年、教育経験1年)				
科目目標	1. 診療の補助における看護の役割を理解する。 2. 治療を受ける患者の看護を理解する。				
授業概要	第1回 安静療法を受ける患者の理解 安静の意義と弊害 安静療法を受ける患者の看護 気分転換への援助、活動拡大への援助 第2回 食事療法を受ける患者の理解 食事療法を受ける患者の看護 第3回 運動療法を受ける患者の理解 運動の効果、運動による疲労 運動療法を受ける患者の看護 第4回 放射線療法を受ける患者の理解 放射線療法を受ける患者の看護 第5回 薬物療法を受ける患者の看護 1) 与薬の基礎知識 2) 薬剤の管理(毒薬・劇薬・麻薬・抗がん剤)と看護師の役割 第6、7回 薬物療法を受ける患者の看護 3) 与薬方法(経口与薬、経皮、外用薬、直腸内与薬、点眼) 第8、9回 薬物療法を受ける患者の看護 4) 与薬方法(注射:皮下・皮内・筋肉内) 第10回 薬物療法を受ける患者の看護 5) 与薬方法(注射:静脈内・点滴内静脈) 第11回 注射器の準備・アンプルからの薬液の吸い上げの実際(演習) 第12回 筋肉内注射の実際(演習) 第13回 点滴静脈内注射の準備(演習) 第14回 点滴静脈内注射の実際(演習) 第15回① 輸血を受ける患者の看護 第15回② 終了試験:1H				
看護師国家試験出題基準	安静療法、食事療法、運動療法、放射線療法、与薬における看護師の役割 誤薬の起こりやすい状況と対策、針刺しの起こりやすい状況と対策、感染性廃棄物の取り扱い、薬物動態 毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤等の取り扱い、薬剤の種類と取り扱い方法、与薬方法と効果の観察 輸液・輸血の種類と取り扱い方法 輸液・輸血の管理方法、輸液・輸血の副作用(有害事象)の観察				
授業の進め方	講義・演習・GWを組み合わせて行う				
履修のポイント・留意事項	形態と機能、疾病・治療論、病態治療学、栄養学、薬理学の学習内容を復習し、授業に臨む。 講義・演習において注射針の取り扱いは教員が必ず立会い、学生同士の注射針の直接刺入は禁止する。 注射法の技術は、模型や注射シュミレーターを使用して、安全で正確な技術を習得する。				

科目区分	専門分野 I	科目名	基礎看護援助論 I (治療別看護)	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第2学期
担当講師	大倉 令(臨床経験7年、教育経験1年)				
テキスト	<p> 系統看護学講座 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 基礎看護学4 臨床看護総論 メヂカルフレンド社 参考図書:新体系看護学全書(別巻)治療法概説 メヂカルフレンド社 </p>				
評価方法・配点	<p>GWへの取り組み、課題レポート、科目終了試験を総合的に評価する。</p>				